

9、お昼ご飯－Ⅱ

マイバ幼児保育園 異年齢混合クラス

子ども 23人 保育士 2人 保育士 2人

保育助手－1人 自閉症担当専門アシスタント－1人

幼児の昼食の流れは、まず、お当番さんが一番に園庭からあがってきて、助手と共に配膳をします。次にゆっくりめな子達が上がってきて、着替え、手洗いをすませて部屋に入り、机につきます。その途中で残りの子たちも上がってきて、順次机についていきます（幼児では食べる場所は決まっていません）。保育士は、机についた子どもたちに食事を配っていきます。髪の毛の長い女性は、自閉症児についている専門アシスタントです。保育には関わらず、自閉症の子どもがクラスでの生活を営めるように援助しています。もう一人の保育士は、助手と共に受け入れ室の着替えと洗面所での手洗いを見えています。

食事は、子ども達に好き？どれくらい食べられる？と確認しながら配っていきます。着替えと手洗いの子どもが少なくなったところで、もう一人の保育士が室内に入ってきて配膳を手伝います。

食事の場面では、きちんとマナーを守りながら食べることも大切な課題となっています。最初はフォークだけで食べていますが、子どもに合わせてナイフも練習し始めます。食べ終わった子は順次、自分で食器を配膳台に運び、歯を磨き、着替えてベットに入っていきます。